

平成19年10月18日

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
米子市政記者クラブ
倉吉記者クラブ

山陰道（淀江IC～大山IC間）開通により国道9号の交通量が35%が転換（速報）

平成19年9月29日に開通しました山陰道（淀江IC～大山IC間）について、和牛博覧会開催期間に交通量調査をしましたのでお知らせします。

現国道9号の交通量の転換を約30%を予想していましたが、35%が山陰道（淀江IC～大山IC間）に転換しました。

山陰道（淀江IC～大山IC間）の開通後（9月13日（土））の交通量は、12,600台/日となり、並行する国道9号の全体交通量は約26,100台/日から約16,900台/日となりました。

今後、道路の利用形態が安定した時期に、詳しく調査を行い、環境改善などの整備効果と共にお知らせする予定です。

なお、今回の発表資料については、倉吉河川国道事務所のホームページでもご覧いただけます。
アドレス：<http://www.kurayoshi-mlit.go.jp/>

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

副所長（技術）

（担当）調査設計第二課長

TEL（0858）26-6221（代）

吉岡 晴彦（よしおか はるひこ）（内線205）

山田 明（やまだ あきら）（内線451）

【整備効果】

山陰道（淀江IC～大山IC間）へ約35%の交通量が転換しました。

■全体交通量の転換

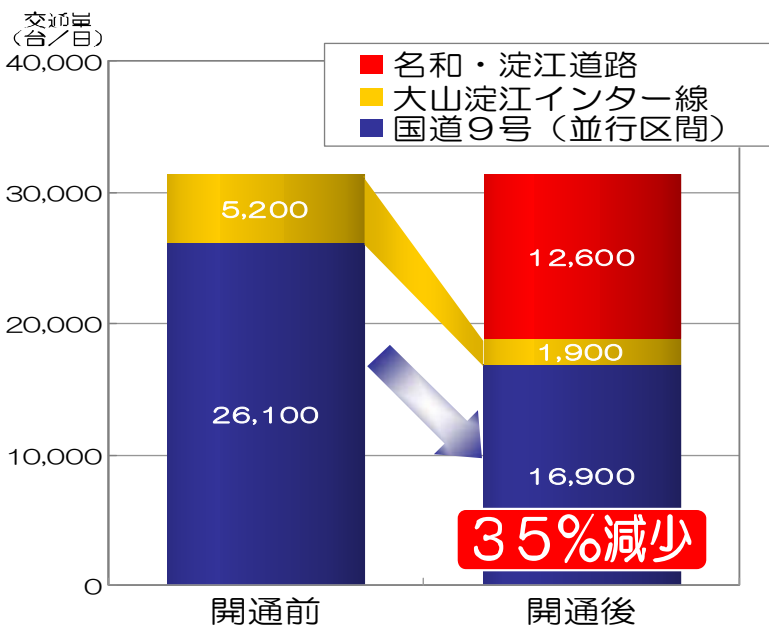
開通前の山陰道（淀江IC～大山IC間）に並行する国道9号の全体交通量は約26,100台/日であり、開通後は約16,900台/日となり約35%減少しました。

※ 開通前の調査日時 平成18年 4月19日（水） 7:00～翌日7:00の交通量

※ 開通後の調査日時 平成19年10月13日（土） 7:00～翌日7:00の交通量



山陰道（淀江IC～大山IC間）および並行する現道国道9号における交通量の変化



※開通前の国道9号（並行区間）の交通量調査日：H18.4.19(水)

※開通前の大山淀江インター線の交通量の値はH17道路交通センサスより

※開通後の交通量調査日：H19.10.13(土)



① 開通後の国道9号の様子



② 開通した名和・淀江道路の様子